

石西礁湖自然再生協議会 新規参加希望者の紹介

区分	お名前・名称	活動内容や石西礁湖自然再生に対する思いなど
個人	非推薦者： 和泉 航平氏	<p>東京工業大学特別教授灘岡和夫氏と共に八重山における持続的な海域利用、持続的な農・畜産業に繋がる横断的な繋がりを作るために各ステークホルダーへのヒアリング調査等を行っています。また八重山ローカルSDGs推進協議会サンゴ礁・生物多様性部会に所属しており、毎年開催されているやいまSDGsシンポジウムのパネルディスカッションやワークショップ等のコンテンツに携わっています。</p> <p>昨今の八重山諸島及び石西礁湖を取り巻く環境は、過去最悪ではないかと感じておりこのままでは次世代どころか現世代で終わるような危機感を持っています。何故このような事態になり、何が課題・障壁となっているのか。これから何を進め、次世代にどう繋ぐのかを考える為、貴協議会への入会を希望します。</p>
団体	推薦者： 八重山ローカル SDGs 推進協議会 (藤本 雄一氏)	<p>八重山ローカルSDGs推進協議会所属の和泉航平氏を、石西礁湖自然再生協議会の個人委員として推薦させていただきます。和泉航平氏は、八重山諸島の海域各地において、当該海域の保護活動に大きく貢献されておられます。具体的には当協議会のサンゴ礁保全/生物多様性部会で役員を務め、同協議会地域循環共生圏部会管掌理事灘岡和夫東京工業大学名誉教授の調査業務補助に多面的に取り組んでおられます。</p> <p>和泉航平氏をご入会されることで、石西礁湖をはじめ八重山諸島のサンゴ礁の保護、保全および有効活用に大きく貢献していただけると確信しております。皆様のご承認のほど、よろしく願いいたします。</p>

<p>団体</p>	<p>非推薦者：</p> <p>沖縄県農林水産部 漁港漁場課</p>	<p>平成31（2019）年度から現在まで、県（漁港漁場課）の事業として、石西礁湖内において種苗生産を行っており、国（水産庁）の補助事業を活用して、その事業で生産されたサンゴ種苗を設置する大規模な基盤整備とそのモニタリング等を行うことを検討しています。国の事業が終了した後は、地域での自主的な見守り活動に移行して、持続的なサンゴ礁の保全が行われるような取り組みも併せて行っていく予定です。</p> <p>本県の主要な漁業生産拠点の一つである八重山諸島において、豊かな海の恵みをもたらす基盤となってきたのが、石西礁湖全域を覆うサンゴ礁でした。その石西礁湖のサンゴ礁が危機的状況にあることから、沖縄県においても、サンゴの増殖の事業に取り組んでいます。将来的に、かつての石西礁湖の豊かなサンゴ礁がよみがえることを期待して、その回復に貢献できるようにサンゴ増殖のための基盤の整備を行って行きたいと考えています。</p>
<p>団体</p>	<p>推薦者：</p> <p>沖縄県農林水産部 八重山農林水産振興センター 農林水産整備課</p>	<p>沖縄県農林水産部漁港漁場課を、石西礁湖自然再生協議会の団体委員として推薦させていただきます。</p> <p>沖縄県漁港漁場課は、サンゴ礁再生による生態系全体の生産力の底上げを目指し、水産魚類の産卵集群形成を促すための漁場整備に向けた基礎調査として、平成31年から石西礁湖において有性生殖を用いた枝サンゴ（ミドリイシ類）の種苗生産と中間育成に取り組んでいます。</p> <p>沖縄県漁港漁場課が入会することで、石西礁湖をはじめ八重山諸島海域でのサンゴ礁の保全および有効活用に大きく貢献できるものと考えております。</p> <p>皆様のご承認のほど、よろしくお願いいたします。</p>